

申2号「北上駅東口出改札業務委託」に関する申し入れ 団体交渉 その4

6 地区駅に関しては、今後業務委託拡大は行わないこと。

組合

組合の認識とすれば「常時運転取扱いのある駅」「新幹線停車駅」「地区駅」はJR本体で一括運営するべきだと考えているが、会社の認識はどうか。

一部コーナーを委託することによってコンプライアンスの関係や車椅子対応などまだまだ100%ではないと思っている。克服すべき課題はまだある。

営業職場における技術継承・人材育成における課題はあるか。

今後の地区駅の業務委託拡大しないことは認識一致出来ず終了。

制度とすれば本体エルダーという制度もあるが、どのように活用するのか。

「変革2027」でも「よりきめ細やかな案内、サービス、輸送障害発生時には対応に注力」とあるが、すべての業務をこなせる人材が必要となる。その際に一部コーナーを委託することによって教育できない場面は出てこないのか。

組合とすれば、本体一括運営が望ましいと考えているので、引き続き議論していきたい。

会社

3つの条件の駅はJR本体運営とするが、これまでの議論の通り一部コーナーの委託はありえるという認識である。

課題とすればあるが、コンプライアンスを守るルールを徹底させていく。

技術継承・人材育成は取り組んでいかなければならないと思っている。JR本体と委託会社双方がレベルアップしていかなければならないと思っている。課題を克服するために駅のマネジメントができる社員を育成していく。

要件に基づいての本体エルダーを担っていただくことはありえる。

1つの駅で完結するというよりも他駅も経験させることによって、育成できると思っている。一部コーナーを委託することによって、育成ができないとは思っていない。

人材を育成するという目的、会社の発展やサービスの向上に繋がることの目的は一緒だと思っているので議論の場があれば議論はしていく。

**本体一括運営（本体エルダー含め）など今後も継続して議論していくことを確認。
エルダー雇用の場の確保と安心して働ける職場を創りだそう！**